

私たちが新栄校区の地域担当です

令和6年度から体制を新たに5名の職員で南エリアを担当することになりました。私たちは、校区社協の方と一緒に子どもから高齢者まで様々な年代の方に向けた活動をしており、お困りごとを抱えておられる方の相談や支援、おたっしや本舗等と一緒に地域課題の解決に向けたお手伝いをしています。

日々の暮らしの中で、お困りごとや気になることがありましたら、私たち地域担当職員にお気軽にご相談ください。

笑顔を忘れず、お役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いします。
※南エリアとは、昭栄、城西、川副、東与賀、久保田の各中学校区を指します。

よろしくお願いいたします！



上段：中島 雅博、山口 貴史、三好 秀史
下段：松田 優希、城野 くるみ

●問合せ先／佐賀市社会福祉協議会 地域支援課 ☎36-9616

佐賀市社会福祉協議会 新栄校区担当 山口 貴 史

寄付御礼

八戸西自治会 古 賀 久美子様【故 古 賀 盛 夫様】
坂井自治会 喜 多 恵 美様【故 喜 多 東 起様】

上記の方より、地域福祉活動の一助にと、ご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

新栄校区

社協だより

「助け合い・声かけ合い・支え合い」の地域づくり

7月号
2024年

新栄校区社会福祉協議会
佐賀市鍋島八戸1285-3
新栄公民館内

誰も孤立させないまち・新栄

【できる人が、できる時に、できる事を】

令和6年度校区社協総会を開催！

5月11日、新栄公民館において令和6年度校区社協総会を開催しました。

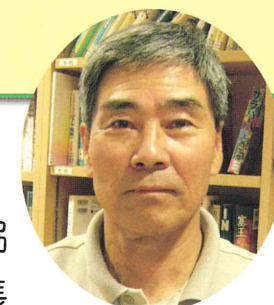
新型コロナの感染状況も落ち着き、制限を受けない形での総会に総勢27名の参加で行われました。総会では、重点活動目標や収支予算、並びに新年度の役員、福祉推進委員を選任し、今年度の事業計画が決定されました。

新栄校区においても少子高齢化が進む中、孤立や生活力、健康面に対する不安を抱える方もおられ、改めて、住民同士の共助の体制づくりが求められています。町区での見守り活動を通して、【できる人が、できる時に、できる事を】を合言葉に「助けあい・声かけ合い・支え合い」の地域活動をなお一層進めていくことを確認しました。



ごあいさつ

新栄校区社会福祉協議会 会長 池 田 正 弘



新栄校区の皆様には、日頃より校区社協の活動にご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。新栄校区では、各町区の班長を「福祉協力員」として任命し、ご近所の見守り活動にご協力いただいています。

いつ・どこで起こるかわからない災害への対応や子どもたちを取り巻く環境の変化、高齢者の孤立などの地域課題に向き合っていかなばなりません。地域住民が互いに協力し合い、新栄校区を安全で安心して暮らせるまちにしていきましょう！

更なるご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和6年度 校区社協重点事業

①福祉協力員活動の推進

- ・町区で班長または班代表者を福祉協力員として選任し、遠見での見守り活動を展開する。
- ・自治会長、民生委員、福祉推進委員、福祉協力員による福祉協力員会議を開催し、見守り活動の情報共有を行う。

②見守り・支え合い月間(5月、10月)の推進

- ・見守り旗の掲揚並びに見守りチラシを全戸に配布し、意識向上を図る。
- ・チラシ「いざという時のために」の記入及び掲示運動を推進する。

③福祉推進委員会議の充実

- ・年4回、福祉推進委員会議を開催し、研修・交流を行う。

④新栄見守りネットワークの推進

- ・町区における個別見守り体制づくり及び福祉名簿の作成を推進する。

⑤校区内各種団体との連携強化

- ・自治会、民生委員、校区社協役員による合同研修会を開催し、情報の共有・連携を図る。



社協活動へのご協力、よろしくお願いします

2024年度 福祉推進委員		2024年度 本部役員	
緑 小 路	鶴 田 美知子	会 長	池 田 正 弘
天 祐 1 丁 目	蕪 竹 真 吾	副 会 長	伊 東 照 俊
天 祐 団 地	柴 田 直 江	副 会 長	陣 内 修
天 祐 2 丁 目 東	百 崎 芳 弘	副 会 長	光 岡 悦 子
天 祐 2 丁 目	秋 山 芳 美	副 会 長	宮 原 和 子
天 祐 北	吉 田 壽 次	副 会 長	小 柳 一 浩
新 生 町	中 尾 良 二	副 会 長	江 口 利 朗
八 戸 東	小 田 綾 子	副 会 長	市 丸 眞 子
八 戸 上	本 山 栄 造	庶 務 ・ 会 計	鶴 典 之
新 栄 北	渡 辺 勝	監 事	立 川 弘 子
新 栄 団 地	堀 本 孝 恵	監 事	本 山 栄 造
八 戸 西	江 口 美穂子	顧 問	田 中 喜 久 子
八 戸 北	田 中 信 子	相 談 役	杠 輝 夫
坂 井	川内丸 邦 子		
坂 井	増 岡 恵 子		
深 町	大 坪 トシ子		

出来る人が
出来る時に
出来ることを



校区社協研修会開催!

テーマ「ヤングケアラーって何?」

5月11日、総会に先立ち福祉推進委員研修会を開催しました。これには自治会長、民生委員の皆様にもご参加いただきました。講師には、佐賀市役所から子ども家庭課の山本係長、青柳主査をお招きし、ヤングケアラーの現状と支援策について研修を行いました。

ヤングケアラーとは、一般的に「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと」とされています。子どもが家事や家族の世話をすることは、家庭内の役割として一般的に行われてきたことですが、過度な負担が続くと、子ども自身の心身の健康や学習面での影響が出てきます。

佐賀市の調査では、世話をしている家族がいると回答した市立学校の小学6年生は16.9%、中学生は4.6%あったとされています。世話をすることで身体的にきついと思っても、誰かに相談したことはないとした人の割合が高いことから、周りで気づくことが重要であり、少しでも「おかしいな」と感じたら知らせてほしいとの話がありました。

新栄校区では福祉協力員を中心とした高齢者の見守り活動を行っていますが、子どもたちの様子にも気配りをしていく活動の重要性を感じることができました。



たくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました!

ボランティアの皆さんでおはぎ配布!

3月中旬、80歳以上の一人暮らしの方におはぎをお届けしました。

新栄ボランティアの皆さんが公民館で作り、各町区で民生委員が届けました。皆さん笑顔で喜ばれていました。ありがとうございました。

美味しかったです!



高齢者ふれあい会食会

11月19日に75歳以上の一人暮らし、80歳以上の二人暮らしの方を対象に「高齢者ふれあい会食会」を開催しました。手作りの食事と童謡や踊りで楽しんだ後、くじ引きをして楽しいひと時を過ごしました。皆さま、ありがとうございました。



校区社協研修

「共生社会を築くために！」

たいへん勉強になりました！

令和6年11月22日、校区社協役員、福祉推進委員、自治会長など18名が参加し、福岡県大牟田市の「^{はやめ}駿馬校区」の取り組みを視察しました。ここは7年前にも視察した地域でありましたが、その後の取り組みも大きく発展しているとのことで再度の視察となりました。

^{はやめ}駿馬校区では、認知症の人への理解を深め、日頃から見守る地域の意識を高めることを目的に平成16年から「徘徊模擬訓練」が実施され、その後大牟田市全体で実施されるようになりました。「徘徊がノーではなく、安心して徘徊できるまちをつくろう」と、校区民一人一人が認知症を理解し、見守りと、声掛けの活動に取り組みました。

これまでは、行方不明情報をもとにした搜索、発見、声掛け、保護に重点が置かれていたが、昨年から認知症本人の外出の意味や目的を理解し、その目的を達成できるように応援できるように重点をおいた訓練となったとのことでした。今年度は、認知症当事者10人が参加して「人情ネットカフェ」も開かれ、当事者の声を聴き、思いに触れた交流ができたそうです。

「認知症があっても安心して外出できる地域」を目指して新栄校区でも見守り活動に取り組んでいますが、^{はやめ}駿馬校区に少しでも近づけるよう地道に続けていきたいと思いました。



新栄校区

社協だより

「助け合い・声かけ合い・支え合い」の地域づくり

2月号
2025年

新栄校区社会福祉協議会
佐賀市鍋島八戸1285-3
新栄公民館内

福祉推進委員研修会を開催！

12月7日(土)、福祉推進委員研修会を開催し、これには自治会長はじめ各種団体から多数の方にご参加いただきました。講師には、福岡市のNPO法人孤立防止センター理事長の速水靖夫氏をお招きし、「孤立死防止のために・今私たちにできること」をテーマにご講演をいただきました。



孤立防止センターでは、「福岡市見守りダイヤル」業務を受諾後に千数百件の安否確認(現場対応)を行い、その中で孤立死されていた方々に共通した生活習慣があることに気付かれました。それは、「セルフ・ネグレクト」に陥っている方が数多く居られたことです。「セルフ・ネグレクト」とは、自分の生活に極端に無関心となり、著しく生活環境と健康状態が悪化している状態のことで、孤立死に至る要因の一つと言われています。全国の孤独死・孤立死は推計で6万8千人にのぼると言われる中、約7割～8割が、この「セルフ・ネグレクト」が要因となっているそうです。

「セルフ・ネグレクト」の特徴は、散髪や入浴をしない、室内にごみが散乱している、腐ったものがそのままになっている、必要な医療や介護を拒否するなど十数項目が挙げられていますが、共通しているのはどの場合でも地域から孤立していることです。



また、孤立死の発生件数から言えることは、50歳代から70歳代の男性の割合が比較的多く、妻に先立たれた絶望感から無気力になってしまうケースが多いようです。女性の場合は、夫を亡くしても新たな楽しみを見つけて颯爽と生きている方が多く、その結果、友人・知人などの近親者が多くなり、亡くなったとしても早期に発見されるケースが男性よりも高いとのことでした。

孤独死の要因となる「セルフ・ネグレクト」を防止するには、早期発見と気づき、こまめな訪問と声掛けということで、私たちの日頃からの見守り活動の重要性を再確認できました。



年末年始地域福祉交流事業



クリスマス・イルミネーション



今年も新栄公民館にクリスマス・イルミネーションの飾付けが行われました。公民館やまちづくり協議会の全面的な協力のもと、12月3日から1月17日まで幻想的な輝きが校区民の心を和ませました。初日には、新栄保育園の園児たちが訪れ、点灯式に花を添えました。

ふれあい餅つき大会

12月22日、まち協育成部会主催で年末恒例の「新栄ふれあい餅つき大会」が開催されました。各種団体の役員をはじめ、子どもたちやその保護者など約200名が参加し、餅をついたり丸めたりして楽しい時間を過ごしました。

つくたての餅は、新栄ボランティアや食改善グループの皆さんで雑煮を作っていたいただき、皆さんで美味しくいただきました。



また、民生委員を通じて、80歳以上の一人暮らしのお宅にも届けられました。



ほんげんぎょう



一年の無病息災などを願う「ほんげんぎょう」が1月12日、新栄公民館西側の田んぼをお借りして行われました。

この季節らしい寒さの中、午前7時半に竹やわらで組み上げられたやぐらに火がつけられ、朝空に勢いよく燃え上がりました。参加者は、持ち寄ったしめ飾りやお札を火の中に投げ入れ、平和な一年であることを祈りました。

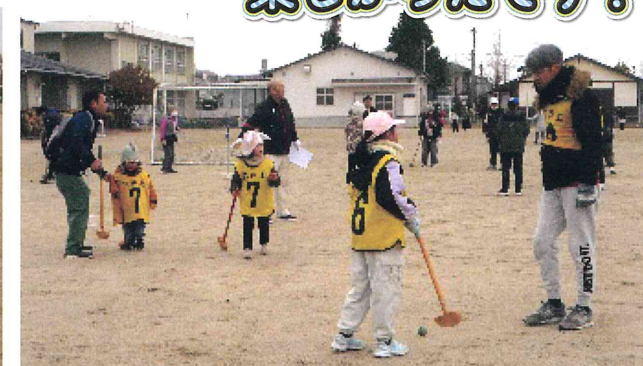
その後、地域の皆さんに用意していた「おしろこ」が振舞われ、心も体も温まる一日となりました。



ふれあいグラウンドゴルフ

1月11日、親子三代が参加して行う「ふれあいグラウンドゴルフ大会」が新栄小学校グラウンドで開催されました。町区対抗戦で、世代を超えた戦いが繰り広げられました。和気あいあいプレーに汗を流し、楽しい交流となりました。

楽しかったです！



歳末助け合い共同募金

(株)シグマ	(有)はと交通	陣内胃腸科・内科
小松歯科	ミサワホーム佐賀	祐徳建設興業
マジックスファクトリー	天祐SS小柳石油	佐賀県産業医学協会
三球電機佐賀支店	コープさが新栄店	内川商事
サカイ引越センター 佐賀支社	新栄子供クリニック	池田デンタル クリニック
佐賀市浄化槽管理事業 協同組合	佐賀トヨタ自動車 新栄オフィス	

年末地域福祉交流事業は、歳末助け合い共同募金の一部配分金で実施されています。

個別募金と合わせて民生委員が左記の事業所から法人募金を募りました。

ご協力ありがとうございます！